

第12回咲耶茶論

『外語出身の2人の作家 司馬遼太郎と庄野潤三』

大阪は文学に冷たいと言われてきた。
しかし近年、大阪出身の作家の顕彰が続いている。
中でも注目は帝塚山派文学学会の設立。
昭和期、独自の世界を構築した作家たち。
その帝塚山派と大阪外語には意外なつながりがある。
司馬遼太郎との濃密な関係。
そこに見える司馬の素顔。そして、代表的作家・庄野潤三。
大阪文学の根底を支える「外語魂」を探る。



講師 元産経新聞編集委員 石野 伸子

略歴

1974年 大阪外国語大学ドイツ語科卒

1974年 産経新聞大阪本社入社

2000年 文化部長

2005年 編集局編集委員（東京、大阪）

2019年 退社

著書 「女50歳からの東京ぐらし」（産経新聞出版）

「浪花女的読書案内」（産経新聞編集センター）

現在 帝塚山派文学学会運営委員

咲耶出版大賞選考委員長

2026年 参加費無料

2月14日 土
14:00 - 16:00

会場：大阪大学箕面キャンパス2階・学術交流室 ③語科④連絡先

お申込みはこちら

メールまたはお電話にてお申し込みください

・ E-mail: sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp

・ Tel: 072-728-2327(月・木のみ)

お申し込みの際は

①～④を明記またはお知らせください

①名前(フリガナ)②卒業年(西暦で)

③語科④連絡先

お問い合わせ

咲耶会事務局

E-mail: sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp

Tel: 072-728-2327

住所: 〒562-8678

大阪府箕面市船場東3-5-10